

丸亀市桜谷聖苑環境保全委員会会議録

日 時	令和 7 年 2 月 17 日（月）14 時 00 分～14 時 30 分
場 所	桜谷聖苑 会議室
出 席 者	<p>（委 員） 会長 山地道弘 副会長 横山融 岩崎富夫 安川俊夫 廣田勝也 香川勝</p> <p>（事務局） 総務部長 七座武史 市民課長 藤田朝子 市民課副課長 治郎座涼子 市民課管理担当長 真鍋和江 桜谷聖苑苑長 宮西浩二</p>
欠 席 者	なし
傍 聴 者	なし
議 題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 報告事項</p> <p>（1） 排ガス等の測定結果について</p> <p>（2） 施設利用状況について</p> <p>（3） 太陽光発電設備について</p> <p>（4） 霊柩車・移送車について</p> <p>3. その他</p>
発 言 者	議 事 の 概 要 及 び 発 言 の 要 旨
事務局	<p>ただいまより、令和 6 年度丸亀市桜谷聖苑環境保全委員会を開催いたします。はじめに令和 6 年 4 月 1 日人事異動により新たに着任した職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>総務部長 七座武史 市民課長 藤田朝子 市民課管理担当長 真鍋和江です。</p> <p>それでは職員を代表して、部長の七座よりごあいさつを申し上げます。</p>
総務部長	（総務部長あいさつ）
事務局	<p>ありがとうございます。本日の会議は丸亀市情報公開条例に準じて、会議を公開とさせていただきます。それでは議事に入ります。丸亀市桜谷聖苑環境保全委員会設置規定第 6 条に「会議は会長が議長となる」とありますので、山地会長、よろしくお願いします。</p>

会長	(会長あいさつ)
会長	それでは議事に入ります。「報告事項について」事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>資料に沿ってご説明いたします。本日の報告事項は 4 つです。</p> <p>(1) 排ガス等の測定結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排ガス、悪臭共に自主規制値内</li> </ul> <p>(2) 施設利用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働件数：令和 4 年度に 1,400 件を超えた。今年度も同程度の見込み</li> <li>・霊柩輸送件数の火葬件数に対する割合：令和 5 年度 26.0%。令和 6 年度も同程度かやや上回る予想</li> <li>・葬祭具貸付件数：3 件</li> <li>・火葬炉累計稼働件数：29,305 件 7 炉をほぼ均等に稼働</li> </ul> <p>(3) 太陽光発電設備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水工事終了後、太陽光発電設備工事に着手するため、令和 7 年度予算（案）に工事に係る費用を計上予定</li> </ul> <p>(4) 霊柩車について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霊柩車 2 台、霊柩移送車 1 台 稼働状況は昨年度と同程度</li> <li>・平成 5 年登録の移送車は昨年 8 月に廃車手続きが完了。平成 11 年登録の霊柩車はオークションで売却予定</li> </ul>
会長	事務局よりご説明頂きましたが、何かご意見、ご質問等ございませんか。
委員	太陽光パネルの導入検討について差替え資料との違いは何ですか。
事務局	長寿命化計画策定時、パネル設置位置を当初 5 箇所で予定しておりましたが、火葬棟 2 箇所、待合棟 2 箇所に確定し、火葬棟の屋上は 4 箇所から 2 箇所になりました。
委員	パネルの設置枚数はどうなりますか。設置スペースは確保できますか。
事務局	設置枚数は減りますが、電力量としては十分確保できます。

委員	この太陽光設備で桜谷聖苑すべての電力が賄えますか。
事務局	すべては賄えませんが、桜谷聖苑の年間使用料の部分で言うと 12%程度以上ものは確保できると確認しています。
委員	長寿命化計画で令和 6 年度は計画どおりに実施して、令和 7 年度に太陽光ですね。
事務局	そうです。
委員	以前、葬祭具の貸付けを増やすよう案内したらいいという話がありましたが、貸付けの回数が減っていて、綾歌、飯山が 0 件ということは、葬祭具を借りて葬儀をする家がなくなったということですか。あと、葬祭具自体はまだ使えますか。
事務局	去年、古くなった葬祭具を整理して、新しいものだけ残しています。葬儀を式場でされる方が多いのと、最近は一切しない人も増えています。貸出しを希望する方のために、無くすことはできないと考えています。
委員	葬祭具の委託料は変わりなしですか。
事務局	近年の実情に合うように委託料も昨年度、見直しをおこないました。
委員	死亡者が毎年千人を超えています、出生数はどうですか。
事務局	昨年度は 730 人程度です。
委員	南海トラフ地震とか緊急対応の人員補強や対策の話し合いについてはどうなっていますか。
事務局	毎年、地震対処訓練を実施しており、火葬は重要な役割となります。炉の数は決まっているので火葬件数は増やせませんが、大勢の方が亡くられた時のご遺体の安置場所等のシミュレーションをしています。
委員	前例として東日本大震災の時に火葬対応したと思うから、そういったものも参考に。
事務局	かなり苦労したと聞いています。市でもシミュレーションをしています、

	想定を超える規模の地震があった場合は、思うようにいかないかもしれません。
委員	そういった時の臨時対応は誰が決めますか。
事務局	市長になります。
委員	遺体が運び込まれた時の安置場所や応援体制を組むことについては市民課でシミュレーションしてくれているということですね。
事務局	市全体で考えています。
委員	シミュレーションをしっかりとしてもらい、有事の際の火葬計画も検討してもらったと思います。
会長	ほかにごいませんか。ないようですので本日の日程は全て終了しました。皆様ご協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局に戻します。
事務局	山地会長、ありがとうございました。最後に市民課長からごあいさつを申し上げます。
市民課長	(市民課長あいさつ)
(14時30閉会)	